



# 古民家 de がんす

一般社団法人古民家再生協会広島 活動報告 2019年 冬

一般社団法人古民家再生協会広島, 〒731-0222, 広島市安佐北区可部東 5-22-33-10  
<http://www.kominka-hiroshima.org/> [info@kominka-hiroshima.org](mailto:info@kominka-hiroshima.org) 082-814-5302

## 1 全国古民家再生協会 中四国地区会員大会に参加して

11月9日鳥取県倉吉市にて「全国古民家再生協会 中四国地区会員大会」が行われ、広島県からは4名の鑑定士が参加しました。

当日は天候にも恵まれ、会場となった鳥取県倉吉市の「倉吉パークスクエア」は多くの鑑定士で賑わいました。

倉吉市には、「伝統的建造物群保存地区」であるとともに、「かおり風景100選」や「美しい日本の歴史的風土100選」にも選ばれている歴史と文化のあふれる町並みがあります。

今回主幹を務めるのは鳥取第一支部。宮本支部長を中心に趣向を凝らした内容で迎えて頂き、鳥取県の取組をしっかりとお聞きすることができました。



鳥取第一支部 宮本支部長



ガイドさんと共に町並み散策へ

「古民家」とは  
築50年以上経った  
建物を古民家と  
定義します。

「古民家鑑定士」  
とは  
築50年以上の住宅  
を、調査鑑定し、  
古民家鑑定書を  
発行することが  
できる資格です。

その後一同は、打吹玉川伝統的建造物群保存地区の町並み散策へ。専門のガイドさんにご案内をして頂きました。倉吉の町並みは、赤瓦と白の漆喰壁が有名で、赤瓦〇号館と記された地酒屋・醤油屋さん印象的でした。赤瓦、漆喰壁、焼杉のコントラストが非常に美しく、町並みとしての統一感も感じることができました。

大会終了後に行われた交流会では、中四国地域の現状について、情報交換を行いました。いつもながら、「古民家」でつながるチームは、熱い！楽しく有意義な時間を過ごさせて頂きました。

多くの学びをいただいた中四国地区会員大会、地元、広島に知識を持ち帰り、今後とも精進していきたいです。

【古民家鑑定士 貴船一樹】

## 2 古民家てくてくレポート ～西条酒蔵通りを散策して～

12月8日、会員の高橋さんと西条の酒蔵通りを散策しました。

まずは、「オステリア セレーノ」さんで昼食を頂きました。こちらのお店は、外観はビルですが、店内に古材が使用されており、古き良きを大切にしている心意気を感じることができます。

すぐ近くには 2号店になる「ピッツェリア・アスペッタ」さんという、古民家の一軒家レストランがあるとのこと教えて頂き、「次は行ってみよう！」と話に花が咲きました。

次に立ち寄ったのが、「酒泉館」です。酒泉館は洋館建ての清酒醸造場で昭和3年に設立された建物とのこと。普段、鑑定をさせていただく古民家は純和風の建築物が多いですが、この日は、レトロな可愛い古民家に巡り合うことができました。

「ご自由にどうぞ」と賀茂泉の空き瓶が飲み比べセットなどもあり、お酒好きの方は絶対に楽しめる場所です！是非、足を運んでみられて下さい。

一休みと立ち寄ったのは、西条の「くぐり門珈琲店」さんです。屋根裏がつながった不思議な古民家の形状から、このような店名になったとのこと。一階は珈琲などの販売、2階が喫茶スペースとなっています。ゆったりとした空間で美味しい珈琲を頂き、癒しの時間でした。

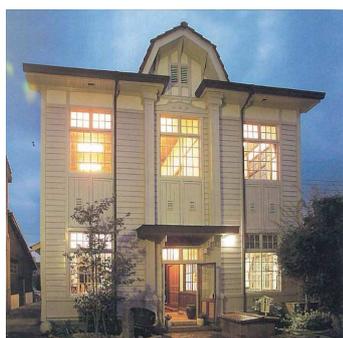
【古民家鑑定士 貴船明子】



ユニークな古民家 「くぐり門喫茶店」



煙突が印象的な「ハクボタン」



美しい佇まいの酒泉館



重厚感あふれる加茂鶴酒造

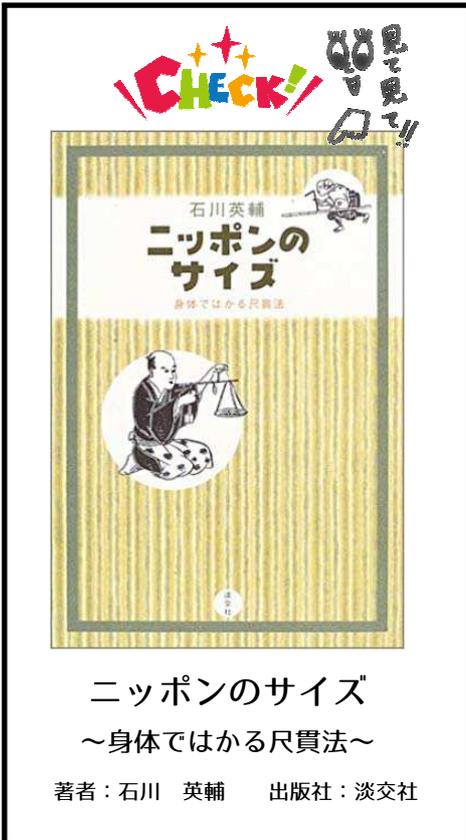


可愛らしいマンホール



西条の美しい景色

※写真は『(公社)東広島市観光協会』からご提供いただいた物を使用しています。



ニッポンのサイズ  
～身体ではかる尺貫法～

著者：石川 英輔 出版社：淡交社

私がおすすめします！ 古民家鑑定士 高橋尚江

古いもの好きのうえ、日本独特の単位にもとても興味がある私。

寸・尺・坪・合・貫・刻、これらの単位は、すべてからだからうまれたものだと、子供のころに父親から聞いたことがあり、足のサイズと手首から肘までが同じ長さだと教えられ、難しい体勢になって一生懸命足を腕にひっつけて確かめたものでした。

そんな私が大人になり、別の江戸の本を探するため、ぶらぶらと物色しているときにこの本を見つけた時は、書店の棚で背表紙が光って見えたものです！昔のひとが、日本人の大きさを基準として、それぞれの目的に使いやすい長さや重さを基準にして決めたことを、はかる道具も紹介しながら教えてくれています。

曲尺・鯨尺・畳という単位・一坪という面積・一里という距離・一町歩と一ヘクタールなど、古民家を観るうえでもとても参考になるし、昔の人の発想の楽しさを知ることができる、興味深い一冊です。



季節の味を愛でる会の  
**ひしま食卓**  
**温故知新**  
VOL. 12 **のっぺい汁**

季節の野菜をたくさん使って **のっぺい汁**

〔材料〕

- ・根菜など  
大根、人参、里芋、  
ごぼう、蓮根、  
干し椎茸、蒟蒻、  
高野豆腐など
- ・鶏もも肉
- ・胡麻油
- ・出汁
- ・醤油、塩
- ・片栗粉
- ・葱(トッピング)

〔作り方〕

1. 里芋は皮をむいて食べやすい大きさに切り、塩少々をふってもみ、水洗いでぬめりを取る。その他の具材は食べやすい形に切る。
2. 鍋に胡麻油を熱し、具材をさっと炒めてから出汁を注ぎ入れ、好みのやわらかさになるまで煮る。
3. 醤油と塩で味を整えたら、水溶性片栗粉を加えてとろみをつける。  
※好みでみりんや酒を少々加えても美味しいです。
4. 器に盛り、刻んだ葱を飾って出来上がり。

料理教室「季節の味を愛でる会」主宰・あや  
「のっぺい汁」は日本全国に広く分布している郷土料理で、大まかに言えば季節の野菜がたっぷり入った汁です。とろみをつけることから、元々は中国より伝わった料理法が各地で多様な発展をしたと考えられています。よく似た料理に「けんちん汁」があり、共に精進料理や普茶料理が原形ではないかと言われています。両者の大きく異なる点は、主役が肉や魚であるか、豆腐や蒟蒻であるかではないでしょうか。精進料理として発展した「けんちん汁」に対し、広島「のっぺい汁」は鶏肉が主役。お祝いや祭りでは「のっぺい汁」、葬儀など法要では「けんちん汁」と、使い分けていたようにも見受けられます。ただし、不思議なことに呼び名は「肉の入らないのっぺい」とか「肉の入ったけんちん汁」というように、地域によって呼び名も作り方もかなり曖昧なのです。この曖昧さこそが郷土料理の面白さであり、魅力につながるように思います。ちなみに今日では鶏肉を使いますが、山間部では野鳥を、魚のよく獲れる沿岸部では魚で代用することも多かったようです。アレンジしやすいからこそ、永く愛される料理として残ったのかもしれない。この冬はのっぺい汁で身体を芯から温めてはいかがでしょう。

季節の味を愛でる会のブログ「箸休め」 <http://kisetsunoaji5141.blog.fc2.com/>  
※ただ今、出産および育児の為、料理教室は不定期開催、ブログはお休みを頂いております。



## 4 可部の古民家調査をして

貴船支部長から、安佐北区の助成事業の取組の一つとして、可部旧街道周辺の現存古民家軒数を調査するので手伝ってほしいと声がかかり、2日間に渡り、調査を実施しました。

私自身の可部の印象としては、旧街道の一本裏手には普段あまり人目にふれることはないが、路地が意外と多く、行く度に新しい発見があって、それって面白いと感じていました。

当日、現地に行くと、町おこしに関心を持っている様子の8名の調査員が集まっておられました。

まずは、古民家について貴船支部長から説明があり、その後、調査が開始されました。

調査方法はフローチャートに従い、「YES」「NO」で進めていき、最終的に古民家かどうかを判断するというものでした。

2班にわかれてスタートし、可部駅周辺を一筆書きに一軒ずつじっくり見てみると、昔の家にもその時代時代で、家主や大工の「こだわり」みたいなものを感じたり、思わず人に紹介したくなるような古民家にも出会うことができ、可部もまだまだ捨てたもんじゃないと感じました。

可部の町は水が豊かだったらしく、狭い路地でも必ず水路がセットになっていました。この水路が、この辺りの生活に欠かせないものだったのであろう想いを巡らせました。また、石塔、道標も多く、人の往来を盛んだったのではないのでしょうか。

まだ、この調査を始めたばかりですが、調査で集まったデータが活用され、住んでいる人のみならず、他地域の人にも可部のことを知ってもらうことで、町が活性化していくことを願っています。



可部の趣溢れる路地裏の様子

例えば、個性的な古民家をイラスト付きの地図で紹介したり、路地や水路を活かした催しをしてみるのも面白いかもしれません。路地名を募集して、〇〇小路とか〇〇細道とか路地に名前を付けてしまうのも面白そうです。路地にあるマンホールを独自の物にしてみるというのも良いかもと、想いがドンドンと膨らんでいきました。

「水と路地と鋳物の町 可部」を楽しみながら、ふと横をみると、趣あふれる古民家というのもいいなあと、改めて感じています。

【古民家鑑定士 山下栄作】



調査隊のメンバー

## 5 城下町勝山を訪ねて

先月、中四国地区大会の帰路、勝山を訪ねました。城下町の面影を残す山間の町、保存地区を散策すると、目に飛び込んでくるのが、家の軒先に揺れる「のれん」。

在住の染色家のデザインにより、個々の店舗、住宅に思いを込めて、オリジナルで仕立てています。

生活の中のアートとして、町の風物詩となっています。

我々は、武家屋敷館を訪ねました。明治元年（1764年）三浦家の勝山入部後に、建てられた屋敷の一つで、同家の家臣、渡辺唐兵衛の屋敷で、近年、修理を終え、当時に近い形で保存されています。

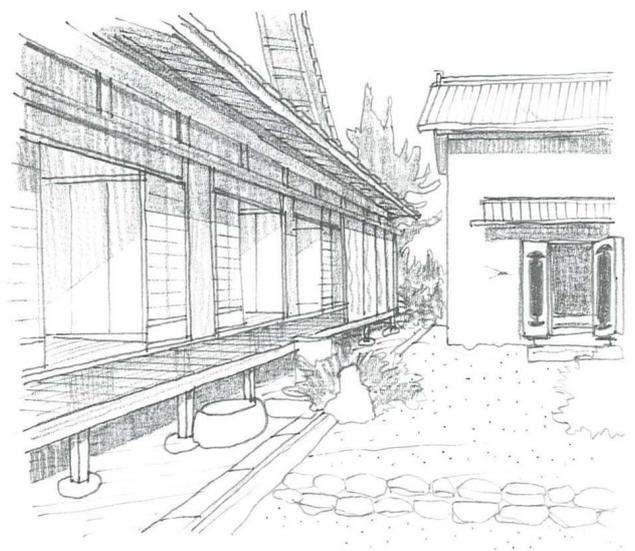
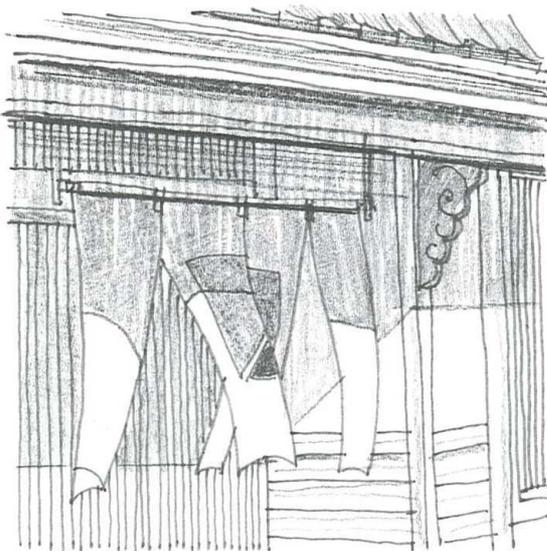
堀に囲まれた敷地内には、長屋門、母屋、土蔵、井戸が配置され、江戸期の武家屋敷らしく、質素で端正な建築を見ることができます。

脇玄関の収納、奥座敷の隠れ部屋、トイレの便器、竹の雨樋、中庭に面した<sup>しとみど</sup>蔀戸、雨戸の鍵等、各所の納まりや工夫は、大変参考になり、多くを写真に収めました。

当日は秋晴れに恵まれ、手入れの行き届いた庭先の縁側で腰を下ろすと、日本建築の素晴らしさを堪能することができました。

さらに北へ車で走ると、旧勝山藩主の三浦家の屋敷も見学でき、高台からの眺めも、大変素晴らしい景色を見ることができます。是非、訪ねてみて下さい。

【絵・文 古民家鑑定士 西原勝】



## 6 古民家情報 in 広島 ～古民家に住みたい！貸したい！売りたい！をサポート～

古民家再生協会広島にご相談をいただいている、古民家売買や賃貸の希望情報です。  
掲載希望（無料）や情報の詳細については当団体までお問い合わせください！

### ●広島市安佐北区可部で古民家を探しています！

店舗としても活用できる古民家を探しています。詳細は応相談。

### ●安佐北区可部町の古民家を売りたいです！

平屋建ての母屋と納屋を買って頂ける方を探しています。

### ●安芸郡坂町の古民家を売りたいです！

築 80 年程度の古民家を買って頂ける方を探しています。庭があり、活用次第では面白い物件です！

### ●東広島市福富町の古民家を売りたい（貸したい）です！

古民家鑑定済み物件。地域の為に活用して頂ける方を探しています！

### ●福山市鞆町で古民家を探しています！

カフェや情報発信の拠点となるような古民家を探しています。詳細は応相談。

### ●広島市安佐南区吉山周辺で古民家を探しています！

陶芸のできるような広い土間のある物件を探しています。売買物件を希望します。

### ●広島市西区～草津の古民家を探しています！

店舗として利用可能な物件で、賃貸、売買、どちらの可能性も視野に探しています。  
隠れ家的なイメージで進めたいので、必ずしも、メイン通りに面する必要はありません。

### ●廿日市市の古民家を売りたい（貸したい）です！

非常に状態の良い、手入れの行き届いた古民家です。詳細は応相談。



広島県の古民家専門空き家管理  
不在古民家管理サービス

何らかの理由で古民家を空き家にされる方に代わって、  
「古民家鑑定士」が、大切な古民家の管理を代行します！！

わたし達にお任せ下さい！！



## 7 可部の町めぐりに参加して

10月20日、「可部のまちめぐり」が開催され、私たちも例年通り、出展をさせていただきました。

可部のまちめぐりは、年に1回、可部の旧街道沿いを中心とした、伝統的な町なみを巡ってもらうイベントで、本年度で第16回目を迎えます。

ボランティアガイドによる寺社・史跡めぐりツアーやワークショップ、酒蔵コンサート、神楽など盛りだくさんのイベント、可部の名物が味わえる出店などがあり、例年、多くのお客様でにぎわっています。

午前10時、明神神社にて地元の高校生による、オープニングセレモニーでスタート。

今回の見所の一つとして行われた、ご当地ヒーロー「メープルカイザー」ショー。事前に握手会も開催され、多くの子供たちと触れ合っていました。



文京女子大学の学生によりファンファーレ



ご当地ヒーロー、メープルカイザー参上！！



大人気の古物やリメイク小物の販売。

我々のブースでは、今年も古民家情報誌「じゃぼとら」の配布や、「木組み」の紹介を行いました。

また、ご好評いただいている「古物」や、「リメイク小物」の販売も行い、多くの方に立ち寄って頂きました。手探りで始めた「古物」や「リメイク小物」の販売も3年目を迎え、「毎年、来ているよ！」と嬉しいお言葉を頂戴することもあり、古き良き物を残すことができたことを感じる嬉しい瞬間でした。

可部のまちめぐりを主催している「可部夢街道町づくりの会」は、現在、「可部に空き家バンクを！」のコンセプトの元、「可部古民家情報バンク」事業を行っており、当協会も協力をさせて頂いています。

可部に住みたい！可部でお店を持ちたい！という方、可部に空き家があり困っている、何とかしたいという方がおられましたら、お気軽にご相談を頂けると幸いです♪

町づくりの会と連携してお手伝いをさせていただきます！

【古民家鑑定士 貴船一樹】

平成31年度

区の魅力と活力向上推進事業補助金  
(安佐北区) 交付事業



古民家売買・賃貸  
古民家情報バンク

## 8 編集部のご紹介

● <sup>きぶね かずき</sup> 貴船 一樹

古い物が大好きで、自ら集めた古材とノウハウで自宅を建築。「ワクワクする古民家」をテーマに活動をしています。

所属/ (有) キブネ建設

● <sup>にしはら まさる</sup> 西原 勝

古民家のデザインは地域の特性が活かした、バランスの良い優れた建物が多く、伝承に関わる事ができればと思っています。

所属/ 西原デザイン事務所

● <sup>はたやま なるみ</sup> 畑山 成美

特に茅葺き屋根の古民家が好きで、「これぞ日本の原風景」茅葺きの民家を探す探索をしています！

● <sup>ふじわら のりこ</sup> 藤原 紀子

生活感のある古民家が好きです。

そこに住んでいる方のお話を伺って、一緒に当時に思いを馳せて楽しんでいます！

● <sup>どい かずのり</sup> 土居 一憲

今まで、仕事ではコンクリート造や鉄骨造が主体ですが、本物の木造が大好きです。古民家にこだわることなく棟梁の技術など興味を持っています。

所属/ (株) オービット設計

● <sup>たかはし なおえ</sup> 高橋 尚江

建物・街並み・手仕事等、「古いもの・こと」なら何でも好きという想いだけで扉を叩き、うっかり(笑)開いた隙間に入った世界！「古き良き」を発受信できる、お節介な窓口を目指しています！

● <sup>ゆだ ひでお</sup> 油田 秀雄

古臭く現代に合っていない建物だからと言って壊してしまう昨今、長く住み続けたからこそ味わいのあるたった一つの『ヴィンテージハウス』

そんな伝統的な日本建築を残したいと思っています。

所属/ (有) 夢木房

● <sup>やまもと あきひろ</sup> 山本 晃弘

昔ながらの風景が好きで、想いを共にする仲間に出会うべく会へ入会！会を通じて昔ながらの良さをじっくり見つけるきっかけづくりにします！

● <sup>さくらい しんじ</sup> 桜井 伸治

古民家を通じ、日本の歴史 文化を学び、それを後世に伝えていきたいと思っています。

所属/ 住マイルにしかわ

● <sup>やました えいさく</sup> 山下 栄作

古民家が好きで「田舎に住みたい」「昔ながらの住まい方がしたい」人が集まってみんなで楽しくお酒を飲む…そんなことを夢見ています。

所属/ ヤマシタハウジング合同会社

● <sup>しだ こういち</sup> 志田 浩一

解体業を営むなかで、古民家にある歴史や古材を活用できるような循環型の解体を目指しています。

空き家問題にも積極的に取り組んでいきたいです。

● <sup>えいか あきこ</sup> 栄花 彰子

日本の伝統を活かす家づくりをしたいと活動をしています。古民家については、その良さを活かした改修を計画します。温故知新を大事に。

所属/ エンロハスデザイン一級建築士事務所

● <sup>わだ ちひろ</sup> 和田 千尋

職人の手仕事が見える、経年変化を楽しめる、先人の知恵の詰まった“古民家”。そこから、様々なことを学び残し伝統を繋ぐ一員と成りたいです！

### 一般社団法人 古民家再生協会広島

731-0222 広島市安佐北区可部東 5-22-33-10  
TEL:082-814-5302 FAX:082-516-7545  
info@kominka-hiroshima.org  
http://www.kominka-hiroshima.org

担当／